

# 平和特集

～平和で安全な町〔核兵器の廃絶を願って〕～

## 平和への 取り組み



### 平和のつどい

毎年8月9日に平和の広場で町民が平和への願いを込めた手作りの灯ろうに明かりをともし、原爆犠牲者の慰霊と恒久平和を願います。小、中学生による平和へのメッセージが述べられ、灯ろうの明かりとともに「平和」への願いを発信し続けています。



時 8月9日⑨ 所 町民文化ホール(予定)

※新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小しての開催を予定しています。開催については、詳細が決まり次第、町ホームページまたは広報に掲載します。

### 平和コンサート in ながよ

音楽を通して平和の尊さを次世代に伝えていくという趣旨のもと、毎年8月9日の直近の日曜日に開催しています。



時 8月1日⑨ 所 町民文化ホール

※新型コロナウイルス感染防止のため、状況によっては、中止となる可能性があります。ご了承ください。

### 原爆展

核兵器が広島・長崎にもたらした被害の様子や平和の大切さを伝えるため、原爆展を開催しています。原爆の熱線や爆風による被害の様子の写真・絵などが展示され、当時の悲惨さを知ることができます。

時 8月6日⑨～16日⑨

所 長与町役場1階 町民ホール

※開催については、詳細が決まり次第、町ホームページや広報に改めて掲載しますので、そちらをご確認ください。

### ヒバクシャ国際署名と活動終了に係るお礼

「ヒバクシャ国際署名」は、核兵器を禁止し、廃絶する条約を結ぶことを求める署名運動です。2016年から2020年までに、長与町では400人以上の署名が、国内外では合計1370万2345人分の署名が集まりました。核兵器禁止条約の発効が2021年1月22日に発効したことに伴い、署名活動が終了となりました。署名していただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。



### 「未来へつなぐ令和原爆の絵」 作品募集

図 NHK長崎放送局 ☎821-1115

被爆者の方の体験・目撃に基づく作品を募集します。応募いただいた作品は、原爆被爆体験を継承し、平和を発信していくための放送・展示や、関係団体のホームページへの掲載を行います。

④ NHK長崎「原爆の絵」係(〒850-8603(住所不要))へ郵送または持参

⑤ 12月28日④まで

⑥ 作品の紙質、大きさ、描き方は問いません。被爆者本人が制作した作品を対象にします。

応募いただいた作品の返却は行わず、最終的に原爆資料館で保管します。

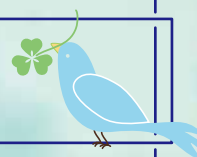
### 8月9日は「県民祈りの日」

— 1分間の黙とうをささげましょう —

町内一斉にサイレンを鳴らします。原爆犠牲者の方々、戦没者の方々のご冥福をお祈りし、黙とうをお願いします。

1945年(昭和20年)8月9日午前11時2分、長崎に一発の原子爆弾が投下され、多くの生命、財産が奪われました。被爆から76年が経った今なお、地球上には1万3,000発を超える核兵器が存在しています。平和な世界の実現を願い、長与町では様々な平和事業を行っています。二度と戦争が起こらないよう、私たちが知っておき、後世にまで伝えるべきことは何か。平和のためにできることについて一緒に考えてみませんか。

## 長与町平和事業の歩み



昭和42年	・「原爆受難者之墓」を建立
平成6年	・「平和で安全な町」を宣言
平成8年	・平和祈念碑「愛・二人」を中尾城公園内に建立
平成12年～	・「平和コンサートinながよ」を開催
平成13年	・日本非核宣言自治体協議会に加盟
平成17年 ～平成26年	・「平和のともしび」を開催
平成18年	・中尾城公園内に「平和の広場」を整備し、その象徴として「平和の塔」を建立
平成20年	・平和首長会議に加盟
平成22年	・「平和で安全な町」宣言塔を庁舎前に設置
平成22年～	・「原爆展」を開催
平成23年	・「長与町被爆体験談集」を作成
平成27年	・「平和のつどい」を開催 ・広島平和記念式典に中学生を派遣 ・「長与国民学校」銘板を設置
平成29年	・「原爆救援列車」銘板と「C57形蒸気機関車の車輪」を長与駅ロータリーに設置
平成30年	・「長与国民学校高田分校」銘板を九州電力長与変電所周辺に設置
令和元年	・ICAN「ノーベル平和賞メダル・賞状(レプリカ)」展示会を町民ホールで開催

### 長与町被爆体験談集 - 想う、そしてつなぐ -

被爆された方々の過去の辛い体験と平和への強い願いを後世に残すため、多くの町民の協力を経て、平成22年に被爆体験談集を作成しました。「長与町被爆体験談集」は、町図書館をはじめ、各公共施設で閲覧・貸出が可能です。多くの方々の目に触れ、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さが継承されることを願っています。ぜひ、ご覧ください。





長与国民学校

被爆当時、現在の長与小学校である長与国民学校が建っていました。救護所として利用され、多くの負傷者が運び込まれていました。



## 平和祈念碑

戦後50周年事業の一つとして、中尾城公園内に建立しました。「愛・二人」祈念碑と名付けられ、男女の像を包む輪は、永遠の平和をイメージした「メビウスの輪」を表しています。



## 高田分校校舎

被爆時は、100人の負傷者が収容され、地元の婦人会が中心となって救護が行われました。建物は、現在の九州電力長与変電所の隣地にありました。



「平和で安全な町」宣言塔

「平和で安全な町」宣言による長与町の核廃絶を願う強い意思を内外に示すため、標柱を庁舎前に設置しました。



## C57 形蒸気機関車の車輪

長崎市から寄贈を受けたもので、救護列車が担った役割を説明する銘板とともに、被爆の記憶の継承と恒久平和を祈念するモニュメントとして長与駅ロータリーに設置しました。



## 原爆受難者之墓

昭和42年、長与国民学校の救護所における原爆死没者の霊を弔うため、町武道館裏の皆前墓地に建立しました。毎年8月9日、墓前では犠牲者の冥福と恒久平和を願い、長崎原爆被爆者の会長と支部や関係者の方々により慰霊祭が行われています。

